

# マンスリー MONTHLY キョウト・ VOL.518

つなぐ。ツクル。  
**70**  
anniversary

発行／極東産機株式会社 〒679-4195 たつの市龍野町日飼190 ☎(0791)62-1771  
編集／極東産機株総務部 ホームページアドレス <https://www.kyokuto-sanki.co.jp/>



## 創業70周年記念式典 開催

### 100年企業を目指して — 創業70周年記念式典における社長挨拶より —

代表取締役社長 頃 安 雅 樹

1948年、畳屋の次男であった祖父が「龍野ギヤー製作所」を設立、藁縫い固めて畳床を作る手回し製畳機を半自動に改造する事業を開始しました。1956年に入社した父が、岡面もなく従業員数名の町工場を、その後地域で有数の機械メーカーに育て上げました。

その原動力として、「職人の手仕事の自動化・省力化」として以降脈々と受け継がれる二つの画期的発明、「自動壁紙糊付機（1971年）」「コンピュータ式畳製造装置（1981年）」がありました。それぞれが「壁紙の施工・普及」・「畳店の生き残り・発展」の観点から、共に業界の発展に大きく貢献してきたものと自負しております。

50周年の1998年、業績が急落し、そこまで進めてきた上場準備を断念。翌年に私が社長に就任し、「住宅依存型のビジネスモデルからの転換」を図るべく努力を重ね、やっと2011年より回復基調に入ることができ、その結果、この度の上場を果たすことが出来た次第であります。創業以来の畳・インテリアの両事業部門は、機械・工具・副資材等を総合的に販売する形で「プロフェッショナルセグメント」として大きく成長し、更に、畳製造力を活かした一般消費者向けの機能性畳の製造・販売を行う「コンシューマセグメント」が育つてまいりました。

一方、「職人の手仕事の自動化・省力化」により培った「得意技（＝コア技術）」を活用して、各種の機械をオーダーメイドで開発・製造する産業機器事業・食品機器事業が、「インダストリーセグメント」として会社成長に大きく貢献できるまでに育つてまいりました。すなわち、創業以来の「プロフェッショナルセグメント」が、いわば「お金と人と技術を育てる畳」として安定的に成長を続けるとともに、その「畳」の「商品力」から生まれた「コンシューマ」、「技術力」から生まれた「インダストリー」の両セグメントが大きく成長することになりました。「インダストリー」の両セグメントが大きく成長することにより、住宅依存型ビジネスモデルからの転換を図ることができました。この「安定性」と「成長性」を併せ持つ「強力なビジネスモデル」が、当社が本来得意とする「技術力」・「商品力」と相まって、今後当社が更なる発展を遂げていく上で、「原動力」になると考えております。当社は今後とも、「真似はされても真似するな!」の信念に基づき、「つなぐ。ツクル。」の「問題解決型マシンアリービジネス」として、産業界と地域・社会に貢献しつつ100周年を目指して努力してまいります。引き続きご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



## ●畠事業部門

長崎県佐世保市 株式会社 喜多畠表店様

# 多角化戦略により「勝ち残る」企業へ

長崎県の北西部に位置する佐世保市（人口二十六万人）で、喜多畠表店様をご紹介いたします。



事需要に対応する為に、スピードアップが必要と考え、コンピューター式自動畠製造システム「両框裁断機」「平刺口ボット」を導入していただきました。

併せて、同年大手インテリアメーカーを退職して帰つてこられた、喜多良平専務様を軸に襖工事・カーテン・内装工事も拡充される様になります。

昭和八年畠材料卸商として創業され、昭和二十四年に現在地に移転。昭和二十六年から畠製造を行われています。

従業員六名、年商一億二千万円、現在の喜多整吾社長様で三代目になります。

弊社とは昭和四十四年に佐賀県伊万里市にワラ床製造工場に製畠機を導入させていただいてからのお付き合いになります。



弊社も、個人客への販促活動を積極的に行われ、個人客売上が業者売上を上回り利

畠事業部門 九州担当  
主任 谷口 靖典

平成九年  
年に先代  
社長が畠  
材料卸商  
エイトシ  
フトを図  
り、地元  
ゼネコン



販売と施工はやはり地元の有小池畠様で行つていただきました。

460帖の内訳はエメラルドグリーン色を道場の外周と中央へ、レモン

茨城県のJCS店であります(株)関川畠商店様からご注文をいただき茨城県水戸市立内原中学校様へ柔道「勝」レギュラータイプを98帖納品させていただきました。

武道場の長寿命化改良工事に伴う入替えで、旧の柔道畠は古く傷みが出

## 内原中学校様へ納品



レギュラータイプは全日本柔道連盟公認の規定をクリアしており適度なクッション性と全体での衝撃吸収で上級者から経験の浅い人でも柔道畠でご使用いただける仕様となつております。

これら商品のご使用販売に関することは、お気軽にお問合せください。

コンシューマ事業部門  
部長 山岡 亮一

## ●コンシューマ事業部門

# 全日本柔道連盟公認畠「柔道畠 勝」

新日鐵住金  
広畠製鐵所様へ納品

弊社の地元でもあります新日鐵住金広畠製鐵所（兵庫県姫路市）の柔道場が老朽化していることでの度、柔道場を新築されました。

ここへ弊社の柔道畠「勝」レギュラータイプを460帖ご採用いただき納品させていただきました。



イエロー色を試合場内として使用し50帖を2面配置させていただきました。

こちらもエメラルドグリーンを外周に、レモンイエロー色を中央の試合場内へ50帖配置させていただきました。

新日鐵住金の宗岡会長様は前回まで全日本柔道連盟の会長をされており、また社会人でも非常に強豪の企業様でもあります。

来年のオリンピックに向けて強豪選手たちがこの道場で練習されることになるでしょう。

日本選手の活躍を期待したいと思います。

も全面的にご支援させていただきます。更なる発展を祈念いたします。

個人客への販促活動を積極的に行われ、個人客売上が業者売上を上回り利

益率も伸ばされました。

平成二十五年には、薄畠製造対応の為「半畠プレス機」「スライダーケル」を導入。

平成三十年には、襖製作業効率アップの為、「横型襖表張機」「襖乾燥機四方向ワンディ」を導入さ

れました。

今では「生き残る」会社ではなく「勝ち残る」会社へと経営方針を掲げ安定成長されています。



# 創業70周年記念祝賀会開催

お蔭様で当社は昨年10月に創業70周年を迎える。3月8日(金)東京会場・グランドプリンスホテル高輪、3月15日(金)姫路会場・ホテル日航姫路において、記念祝賀会を開催いたしました。



姫路会場



東京会場



ブランドムービー公開



ご挨拶いただいた永嶋会長  
(中央当社社長の左)



当社社長ご挨拶



大西会長乾杯ご挨拶



永嶋会長乾杯ご挨拶

のご挨拶を頂戴し、内装業界発展の中での当社の果たしてきた歴史、加え力への信頼・期待のお言葉を頂戴しました。

しばらくご歎談をいたしました。その後、東京会場では当社常務取締役 西川智、姫路会場では常務取締役水田一久が中締めと共に感謝のご挨拶をさせていただきました。

最後に、記念品として、当社創業70周年を記念して、当社社長が、この5年間に書き続けてきた社外報「マンスリーキヨクトー」の巻頭言63編を集めた「心ここにあらざれば(PART III)」等をお渡しさせていただきました。

姫路会場では公益社団法人 兵庫工業会 会長 大西 功 と一緒に乾杯のご挨拶を頂戴し、大西会長が本社近隣の高校ご出身で少なからず当社とご縁があったこと、また、当

今後も良き機械メー カーとして、オリジナル製品の開発・販売を通じて産業界・社会に貢献してまいります。

各位におかれましては、引き続き、ご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

今後も良き機械メー カーとして、オリジナル製品の開発・販売を通じて産業界・社会に貢献してまいります。

今後ともお客様にお役に立てる様、新しいより良い商品機械をご提供させていただきますので宜しくお願い申し上げます。

今、和室が見直をされている近年、海外から多くの外国人の人々が日本に来られ和の文化に非常に関心を持っていています。その中でも食の文化で「お寿司、天麩羅、お刺身、お蕎麦」等代表的な物ですが、日本古来伝統和室の文化、敷物「畳・ふすま・障子」が海外の方から大きく注目を浴びています。

一方、日本人の我々は本当の日本の良さを忘れかけている事に気付かされる。

昨今、新築の洋風化が進み畳離れの中、洋間に敷く縁無し畳、薄畳、カーラー畳等増え、お客様のニーズが多様化し、それに伴い畳製造機器も大きく変化しつつあります。

2020年 東京オリンピックに向け業界を挙げて様々なPRを各地で開催し盛り上げています。

今後ともお客様にお役に立てる様、新しいより良い商品機械をご提供させていただきますので宜しくお願い申し上げます。



総務部  
部長 陸井 雅雄

プロフェッショナル本部  
部長 岡本 昭則  
畠事業部門  
部長 岡本 昭則